

あまでうす

『コロナあれこれ』

コロナ騒動で中断していた、友達とのモーニングやランチを、六月中旬に入ってから二人に、「ぼちぼち復活させようか?」と、「LINOをしてみた。(ちなみに、「LINOは女性とに、どうも若いころ女性としていた文通の影響があるようだ。だから男とは電話のみで、「LINOはやらないう」すると二人からすぐに、7月になつたらOKという返事がきた。彼女とは、月一で行きつけのファミレスでモーニングやランチをしている。もう一人は関の女性で、不定期ではある

が、いつも地元か関のカフェでモーニングをしている。というところで、五月振り前にこうして以前のように復活を果たした訳である。

その復活で7月、久々にモーニングをしたのが一宮の彼女で、9日の9時半に待ち合わせ、岐阜市にある馴染みのファミレスのドアを開けて入ると、前と違って店先には消毒液が置かれ、レジにはコロナ対策用と、透明のビニールシートが垂れ下がり、スタッフ全員マスク着用という姿。その他に変わったところはこれといったないようだった。食事中は着けていたマスクを何処に置いたのか・・・先日テレビを観ていたとき、

ある医者先生が、紙袋に入れると良い。と言っていたのを思い出して、殺菌済みの和紙で作られた長財布を持っていたので、その中に入れていた。(今は専用のマスクケースが色々発売されているようだ) マスクを話すときは、したまま長時間話を一度も辛くないだけに、何と辛い事か。いまには二人ともマスクを取って話し込む状態だった。

話題は、自粛中はどうしていたのか・・・部屋の掃除ついでに模様替えをして、使わなくなった電化製品やオーディオ機器の整理をして断捨離をし、不燃物日に2回に分けて車で運んだとか、スーパへ

の買い出しの様子はどうだったとか、子ども達の学校のこなど、話すことが多く、いつもの様に長い長居をしてしまった。

そして関の彼女からは、唐突に明日空いてるかとか「LINOが入り、一空いてるぞ」と返事をすると、こちらとしてははてつきりいつものように、関市のカフェでモーニングをするものと思っていたところ、「久しぶりに風地蔵へコーヒーを飲みに行きたい」という。時間を任せると、9時半に風地蔵でと返事が来た。慌てて風地蔵の店長に「LINOで9時半ころ二人でおじゃましますと送信。当日は雨模様。確か前にも二人で行った時も雨が降っていた。

今回も雨かと思いつ車を走らせ風地蔵へ。彼女は少し遅れて到着したが、いつものテーブル席で積もる話をしていると、雨に濡れる庭を見ながらコーヒーを飲む雰囲気がこの風地蔵には似合うそう。太宰治が言った、「富士には月見草がよく似合う」と言う言葉がこのとき思い出していた。なにせ風地蔵へ行くときは、天気の良い日しか行つたことがないからだ。また来月18日に行くことを彼女に「LINOを入れる」と、「私も行く!」と返事が来た。さて、天気はどうなんだろう?・・・

風地蔵新聞

第202号
 題字 岩瀬桃谷
 発行 編集
 風地蔵
 白石 美帆
 〒503-0922
 岐阜県大垣市
 馬場町85
 ご感想・エッセイ・お便り
 セー・俳句など
 短歌待ちます

不安な時間

大橋 美紀

我が家には、この7月26日で8才になる愛犬トイプードルを兄弟で2匹飼っています。

2、3ヶ月に一度この7年間決まったところトリミングに行っています。4月にトリミングに連れて行ったのも、そろそろと思いつく電話を一ヶ月前の6月にしました。すると、このコロナの影響と暑くなってきたのもあって、一番早い予約日

は9月に入ってからだと言われました。いつも一ヶ月ぐらい前に予約を入れていて、だいたい希望する日に入れることがよく聞くと近くの

お店(トリミング)が閉められたことも影響しているようです。とりあえず9月に予約を入れたのですが、電話を切つて2匹のモサモサになりおじいちゃんみたいになっていて姿を見ると、やっぱり9月までは無理。目のまわりや、口のまわりは、こまめに切つてあげていますが、それ以外はあまり切つ

たことがなかったんです。

他のお店は・・・と思つていたのですが、なるべく近くのお店を検索し、電話を入れると1軒目もやっぱり9月まで無理だと言われ2軒目も又無理だと言われ1年前にオープンしたビバホームに電話を入れると「あいてますよー」その日は一日大丈夫ですよーと言われ一瞬不安にもなりませんでした。7月7日、予約を入れた日です。愛犬たちは分かっているのか、いつとも同じ朝、いつもと同じ朝、

を食べ、いつもと同じようにじやれ合っていました。予約時間はお店がオープンする10時です。ペット用品の売場の所にあるのですが車から降りしリードを付け、ペット用品の売場の近くから入店すると、愛犬たちは珍しい所に、散歩に連れてきてもらえないのでしよう。足取りも軽やかで、私のすぐ横を歩いていました。いざお渡ししようとする1匹はおしっこを漏らし1匹は店内を後ろ足を滑らせながらスタップの方から逃げ回る。追いかけっこをすること約3分、ようやく捕まえられ、それを

それぞれのゲージの中に入つた2匹。とつても寂しそうに不安な目で私を見ていました。あんな姿を見るのは、初めてでした。なので私も後ろ髪を引かれる思いでお店を後にし、家でお迎えの電話を待ちました。待っている時間がすごく長く感じたのは私はもちろん愛犬も長く感じたことでしょう。連絡が入り大きなカーブに2匹乗せられている姿を見て、やっとな安心しました。それから私は私にベツタリの2匹。やっぱり慣れていたところが1番。私も愛犬もそう思つたでしょう。でもとつてもさつぱり可愛くなりました。

川風

しらいしみほ

絵本をえらんだ
みんなでえらんだ

近しい友人である
人生の先輩に孫が生
まれました。
すぐに服を選びに行
くのですが、りおん
とあたしの趣味がま
るで違い決まりませ
ん。
そうだ！
遠くに住んでる若夫
婦には親戚も友人も
沢山いるから、初孫
のじいじとばあばに
送ろう！

そうだ！
絵本がいい。
イメージは家に来た
孫に読んであげたい
絵本です。
夜な夜な、いびきを
かいていようともし
「これ、よんで〜」
と数冊手に持って、
ベッドによじ登って
やってくる強者に
いちばん絵本に縁の
なかったGIがはら
いっばい読まされて
います。
いまでは、大人の本
くらいある長い長い
文の絵本も
さいごまで読んでい
るからびっくりです。
そんなら、全員選
ぼう！
じゃあ、カイトね、
今まで読んで一番よ
かった本は？
二つでも三つでもい
いよ〜
そうですね〜としば
らく考えて

「じぶんは、あれで
すかね、もこもこも
こ。ほとんど文字は
ないけど
あの本の絵というか、
始めてみたとき衝撃
的でした。」

他は、カップパたろう
ときかな笛。あおちや
んが好きなぼんちん
ばん。
つぎはりおんよ。
「うちは、十一匹の
猫」
え〜その本、うち
にないやん。
「うん。そうやお。
(これ大垣弁) 保育
園で大好きだったも
ん。
なんか、まいにち読
んで読んでつて言い
よった」
シリーズものだから

さいきんらんちゃん
は洋ものを選びます。
3匹のヤギのガラガ
ラドンに似てるけど
違う、マウルスと3
匹のヤギ。
あと、おじいさんと
孫ふたりの夜の恐い
話し。
どれも洋ものです。
登場人物がカタカナ
で英語の国じゃない
から
とつても読みにくい
名前がいっぱい出て
きます。

けど、登場人物は、
らんちゃんね、それ
あおちやん、GI!
BA!とじぶんちに
置き換えてくれるの
で
楽ちんです。

ふたりが初孫に 絵
本を読み聞かせして
いる姿を想像すると
ものすごく幸せな気
分になりました。

緊張感

佐藤 李恩

最近の可愛い我が
子は、朝からトムと
ジェリーを見ている

原作をえらび、こっ
そりりおんに
どろんこ編を買いま
した。
さいごはGI!
おれや〜おれは別に
〜と言いつつ、
「あ〜、ばばあちゃ
ん。あ！だるまちゃ
んとてんぐちゃん」
すぐに答えが返って
きました。

ちなみに子どもたち
が読んで〜もつて
くるのは、いろいろ
ちがうけれど

ようです。タッタッ
タッタ。どちらかを
追いかけて右へ走る。
タッタタッタ。次
はあべこべになって
左へ走る。起きてす
ぐワ〜ワ〜。帰って
きてワ〜ワ〜状態
です。って言うこと
は元気です(笑)

先日、私の介護現
場で緊張が走りまし
た。主治医のクリニッ
クがコロナ感染者ら
しき人が電話もなく
来院。
無防備姿だった先生
だったそうで、もし
その方が陽性であれ
ば、施設にも広がる
んではという緊張が
走りました。

コロナが流行出した
頃は手洗いマスク消
毒はあたりまえでし
たが、緊急事態宣言
がとかれ、ひと月以
上経った今はどうで
しょう。また急にふ
えだした矢先です。
流行りだした頃は、
みなさんも日常の変
化があったとおもひ
ますが、そんなに身
近に感じてはいない
と思います。「私は

大丈夫」私も思っ
て
今回施設に緊張が
走ったときは自分
がかつてもおかし
くないと思いまし
た。すぐに家族と連絡を
取り、家に帰れない。
ホテルで過ごすか。
と話し合いをしまし
た。

会社の人達は「まだ
陽性が出たわけじゃ
ないから心配しすぎ
よ〜大丈夫よ」と言
われましたが、もし
陽性だったら、対応
が遅れたじゃ済ませ
れなません。もし家
族にうつつても恨め
ない。そしてら心配
しすぎでも用心し
すぎでも結果が出る
ま
で私はホテルに泊ま
つたほうがいいだろ
うと家族と話し合っ
て
決めました。

家族に伝えた、昼か
ら夕方までの間、母
は、あらゆる所へ電
話したり調べたそう
です。
久留米の保健所がも
うけているコロナ相
談では、けんもほろ
ろな対応にぶち切れ
た母。夕方ぎりぎり
に厚生省のコロナ相
談専用ダイヤルを見
つけました。

久留米の保健所の情
報となんら変わらな
いかと思えますが、
といたながら聞くと
姿勢が国と市では雲
泥の差。
コロナの症状が出て
ない陽性のひとから
もコロナは感染しま
す。私どもも、同じ
事を伝えても、聞く
人によつての温度差
があることを感じま
す。
大げさではないです
よと、言われた母は

堂々と家族を守り、
拡大を防ぐ自主防衛
をします！と伝えた
そうです。
家には帰らず、
この2日間結果が出
るまで気が気ではあ
りませんでした。
そして昨日夕方16
時半前に主治医から
電話があり、管理者
が電話越しで「うつ
そ〜！〜ええ〜！」
と話したときみんな
陽性と頭をよぎりま
した。結果は先生が
無防備でしてしまっ
た患者さんは陰性。
胸をホツとなで下ろ
しました。が束の間、
他の患者さんで陽性
の方が何人か出たと
いう事でした。完全
防備でしているから
これは大丈夫だそう
ですが、

また久留米ではコロ
ナが急増しています。
特に若者の20代で
発症。コンビニ店員
や高校教師。はじめ
のコロナより発症が
倍になっているそう
です。
もし、医療機関に受
診する際は、どんな
状態でも電話をして
からいった方が良い
と思われまます。こん
な大事になるのなら、
なるべく大丈夫そう
なケガなどは病院を
ひかえうつらないよ
うにしていきたいで
す。

また久留米ではコロ
ナが急増しています。
特に若者の20代で
発症。コンビニ店員
や高校教師。はじめ
のコロナより発症が
倍になっているそう
です。
もし、医療機関に受
診する際は、どんな
状態でも電話をして
からいった方が良い
と思われまます。こん
な大事になるのなら、
なるべく大丈夫そう
なケガなどは病院を
ひかえうつらないよ
うにしていきたいで
す。

2つの別れ

鎌澤 宣子

今回は、九州研修 & 慰安旅行をお休み させて頂きます。す みません。次号で続 きを書いていきます。 楽しみにしていて下 さい。

さて、なぜお休み させて頂いたかとい うと6月に2つの悲 しい別れがありまし た。

1つめは、私の姉 が6月19日に、急 逝しました。姉とは、 3年ほど前にケンカ 別れをして妹の娘の 結婚式以来会ってな かったのです。

6月19日朝、下 の姉から電話があり、 姉が意識不明で救急 車で病院に運ばれた からとの事、寝耳に 水でびっくりしまし た。ともかく状況が 分からなから、姉 が病院に行ってくる から、又連絡すると いう事でありあえず この時点では、まあ 大丈夫だろうあの人 は不死身だから、と 高をくくっていたの ですが、それから3 0分後くらいに今度 は妹からの電話。嫌 な予感を感じながら 電話にでると、「久 美子さんが亡くなっ た」との知らせでし た。そこからいろん な想いがあふれ、妹 に「まだ仲直りして ないのに」と。それ だけを言うのが精一 杯でした。

社長に電話をかけ て、詳しいことがわ かり次第連絡します、 と。そして少し姉と

の事を社長と話をし て落ち着かせてもら いました。昼頃に姉 から通夜のことや葬 儀のことなど連絡が あり、社長とお店の 段取りとか色々打ち 合わせをして、大橋 さんにも連絡を取り 「ご迷惑をおかけし ますよろしくお願ひ します」と。次の日 が友引のため、仮通 夜、本通夜葬儀とな り、仮通夜と本通夜 のみ早く上がらせて 頂き、葬式の日は、 お店がお休みの日だっ たのでよかったです社 長と話をしている、 私のことを考えてあ まり迷惑かからない ようにしてくれたん だと思えます。

こんな時でないとなかなか集まれない甥っ子や姪っ子、姉妹が集まりその中で嬉しい知らせもあり、ホッとなりました。いい葬式だったなと、妹の友だちとかも駆けつけてきてくれて、私の知らない姉の顔を垣間見れてよかったです。葬儀も無事終わりホッとしましたのも束の間で、2つめは夫の父との別れでした。

6月28日、朝6時頃に母より電話があり「じいちゃん亡くなったの」「朝の1時頃だったよ」と。前日の朝にも母から電話があつて「じいちゃん」と面会できる ようになつたよ」と聞いていた矢先でした。次の休みに息子と顔を見に行こうねと話をしていたばかりでした。父は、80代に入ってから、脳梗塞や心筋梗塞、

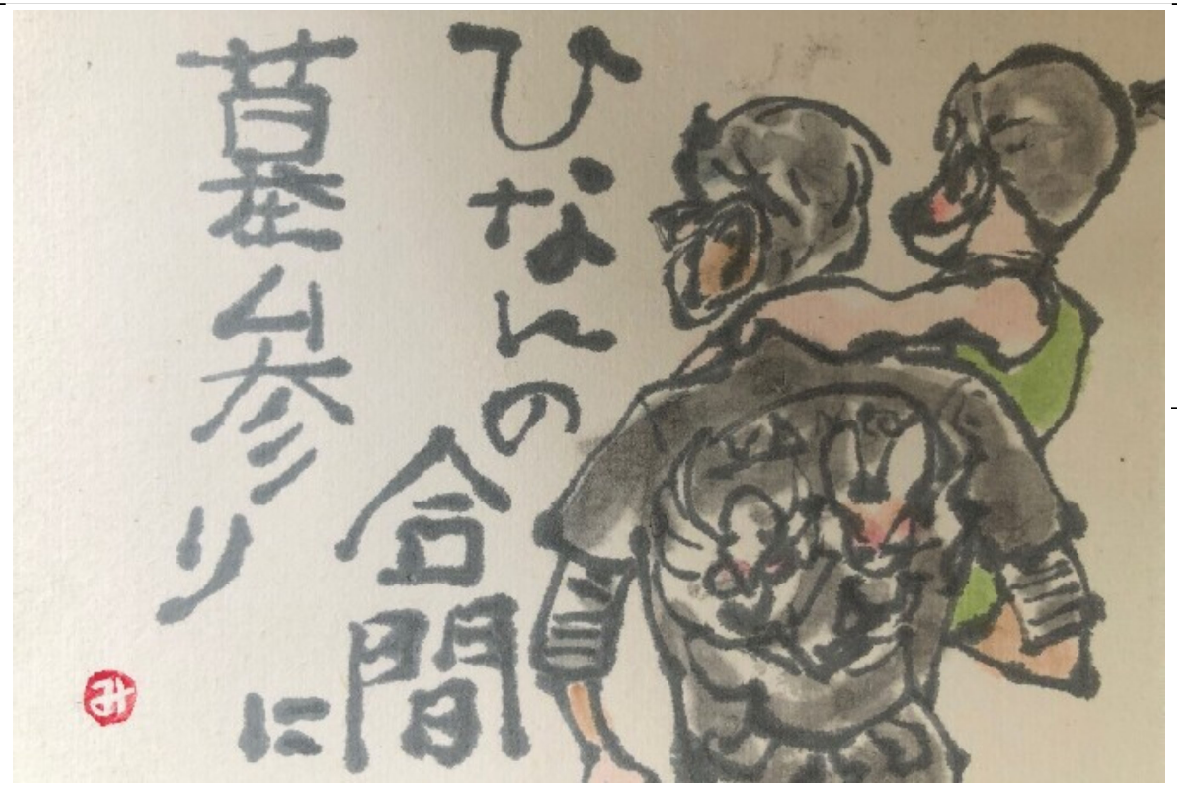
大腸ガンと病気との闘いの日々でした。特に大腸ガンの手術後、心筋梗塞も出たので、心配しました。3ヶ月前くらいに又脳梗塞で今回は右側の太い血管が詰まってしまったので、余命宣言をうけていたのですが、心の中心で父は大丈夫。という想いがありました。ただ意識不明の状態だったので心配はしていた、行ける限りは顔を見に行つて声かけしようとおもっていたのに、コロナのため面会がかなわなわずやつと面会が出来なくなつたので、顔が見れると喜んでいただけにショックでした。

私の両親が早くなくなつたのもあり、本当の父のように接してくれたことや、色んなことが走馬燈のように思い出されました。

社長にすぐ連絡を取り、お店の段取りとかをして、大橋さんにも連絡を取り、今回はお店にも迷惑かけてしまいました。父の葬儀の時にも、なかなか会えない姪っ子や甥っ子が顔を合わせ、父の思い出話をしをして、また大勢の方達が慰問に訪れてくださってあらためて父の偉大さを実感しました。身近な2人の死に對して思うことは、元気に健康でいないと、残された者の責任だと思えます。これからは頑張りていきますので応援

よろしくお願ひします。 あつ姉の棺に手紙を書いて入れさせてもらったのですけど、

姉は読んでくれていたのでしょうか？ 終わり



「コロナでなくしたもの」

中学生の長男と小学生の次男、三男の野球の公式戦の応援に。観客席では少し間隔を取って座り、もちろんマスク。大声での応援は自粛。真夏にマスクで野球の応援。誰がこんなこと予測できただろう？

子供達はハイタッチも無し。野球の試合も淡々と進む気がした。

コロナで失った大きなもののひとつは、「熱狂する」ということではないか？

危険である。

庭師 奥田良樹